

入社式を迎えることができまして これもひとえに皆様のご協力の賜物です、チャレンジ1号館1期生を迎えるにあたりまして 一言お喜びを申し上げます。そもそも当法人の設立のきっかけですが私の息子の障害が分かった時に、物凄い迷惑なアドバイスや怪しい誘いや販売などの胸糞悪い出来事ばかりで 何て不幸なんだろうと 思って生活していきました。 案の定幼児期を迎えて来ると、受入れてくれる施設はありません、受入れる前から 門前払いが続きました、途方に暮れた毎日の中でネットで東京都港区にある愛育養護学校のホームページを見つめました、かなり遅い時間でしたが思い切って電話してみました、見学したい旨を伝えると快くOKいただき 早速見学に伺いました。息子は当時300円握りしめている拘りがありました、何故かと言うとスーパーに買い物に行った時に塩、バター、チーズ味のポップコーンを買うためです、お金を握っている行為は常に注意を受けていて 親も疲弊していました、見学当日も案の定300円を握りしめていて絶対に離しません。 広尾駅を降りて養護学校の 近くの有栖川公園で指を1本1本離して取上げようとしたが無理でした、伺う時間が近づいてきたので、 300円を握ったまま愛育養護学校に向かいました、玄関につきチャイムを鳴らすと女性の方が出迎えてくれました 服部誠と言います、今日は宜しくお願ひしますと挨拶すると『マコ君で言うのね、こんにちは』ところでその手は どうしたのと早速の指摘を受けました やっぱり注意されるな と思って300円の事情を伝えると、大笑いして 『ちゃんと理由があるじゃない、マコ君素晴らしいわ』と誠に言ってくれて、気が済むまで持たせてあげなさい、 納得すれば持たなくなるわよ とアドバイスしてくれました。息子の行為を受入れてくれて認めて貰える喜びを感じた瞬間でした、この女性が私どもの施設の立上げるきっかけになった愛育養護学校の岩崎校長先生との 出会いです、それから5年間毎日誠と理事の尚子が弁当持参で岩崎先生の傍らで尚子が生徒かのように通学 させていただいていた、誠も言葉は喋れませんでした、愛育養護学校の自由な雰囲気の中他人との関わりも出来るようになってきました、そんな ある時岩崎先生と誠が教室で過ごしているときに他のお友達が物の 取合いで揉めていました、その場面を見た誠が『みんなでなかよく』と言った言葉で仲良くしようねと先生が言っ てお友達も納得したそうです、その言葉を聞いて岩崎先生は『マコ君素晴らしいわよ』と言って褒めてくださいました この出来事は私たちにとって嬉しい出来事で『みんなでなかよく』の言葉が忘れられない言葉になりました 愛育養護学校は幼稚部と小学部の学校なので中学生以上は別の学校に行きます 月日が経ち愛育養護学校を去る日の事、校門まで岩崎先生が見送ってくださり握手をさせていただきました いつの日か子供たちが自由に自分らしく過ごせる大人の愛育を作って見せますと話をさせていただきました あれから10年が経ち感慨に耽っております、色々な思いで当法人を選ばれたと思います、これも何かのご縁 ですので、どうぞ宜しくお願いします

